

福島市長 瀬戸孝則 様

福島市議会議長 粕谷悦功

東日本大震災復旧復興対策並びに原子力発電所事故対策調査
特別委員会提言について

このことについて、東日本大震災からの復旧復興対策並びに原子力発電所事故による被害への対策にかかる事項について調査を行うことを目的として設置された標記特別委員会において、これまで常任委員会と同一とする分科会において調査を行ってまいりました。

その調査の結果につきまして3月市議会定例会本会議最終日において報告がなされ、これが承認され、あわせて委員会より提出した意見書を可決いたしました。

つきましては、別紙のとおり市当局に対し何点かの提言がございますので、この提言についてご配慮下さいますようお願いいたします。

福島市長 瀬戸孝則様

東日本大震災復旧復興対策並びに原子力発電所
事故対策調査特別委員会 提言

平成25年3月27日

福島市議会議長 粕谷悦功

経済民生分科会

調査事項 「水田・畑地・果樹園地の除染及び観光・農産物等の風評被害対策について」

市に対する提言内容

- ①本市農業復興のためには、地産地消を積極的に推進するとともに、放射能に関する正確な情報の提供、表現方法の工夫及び適切な広報を行うことが必要であり、産地と消費地との密接な連携・情報発信による消費・販路拡大は極めて重要であるため、積極的な取り組みを検討すべきである。
- ②首都圏において生産農家の顔が見える直販は消費者の安心・信頼を得るのに有効であるため、首都圏へ直販している農家に対する諸費の支援策を検討すべきである。
- ③東京都の「ふくしま⇄東京キャンペーン」は、福島県の一日も早い復旧復興を願い、都内各地で福島県産品と観光の支援のための様々な事業を実施しており、積極的な活用を検討すべきである。
- ④農産物の出荷前検査体制や2年目となる「福島市こでらんに博」、「東北六魂祭 2013 福島」等イベントを通して、情報発信力がある県外市場関係者、旅行代理店企画担当者等に安全・安心の発信を行っていただくよう積極的な取り組みを検討すべきである。
- ⑤東北六魂祭 2013 福島は、多くの観光客に本市の現状を知ってもらい、発信していただく絶好の機会であるため、しっかりとしたおもてなしの体制づくりが必要であり、また、本市観光の復興のため、本市ならではの地域資源の再発掘・再発見に努めるとともに、地域を舞台とした福島市こでらんに博は人的資源を育成して継続的な体制の整備を検討するなど本市観光の復興に向けたビジョンを示すべきである。
- ⑥風評被害を払拭するため、本市農産物の福島ブランド再構築を推進する施策を実施するとともに、次世代に農業を引き継ぐための将来を見据えた取り組みとして、表土除去・改植を一体として進め、農地の集約化及び遊休農地を有効活用した団地化等といった農地再生事業を検討すべきである。

国へ提出する意見書名

「果樹園地の表土除去と改植の一体的な事業実施に関する意見書」、「野菜・果物の全量検査体制の構築を求める意見書」